

盛岡さんさ唄

歌詞採取 藤原仁右エ門

盆の八月 ヤーハイ 正月から待ちた

待ちた踊りも今夜ばかり サーンサヨ

南部なんぶと ヤーハイ 皆様おしゃる

南部あねこと馬がよい サーンサヨ

さんさ踊りは ヤーハイ どこでも流^{はや}る

まして盛岡で尚はやる サーンサヨ

踊りくるくる ヤーハイ お庭が狭い

お庭ひろげる太鼓うち サーンサヨ

さんさおどらば ヤーハイ 品よくおどれ

品のよいのを 嫁にとる サーンサヨ

朝に起きれば ヤーハイ 嫁とるはなし

俺をだまして稼がせる サーンサヨ

南部片富士 ヤーハイ 岩手の山よ

水は北上 化粧のみず サーンサヨ

さんさ踊るなら ヤーハイ 盛岡におでれ

老も若きも 妻も子も サーンサヨ

踊りはねるも ヤーハイ 三十が前よ

三十過ぎれば 子がおどる サーンサヨ

三十過ぎても ヤーハイ おどらばおどれ

踊る雀は 百までも サーンサヨ

揃たそろたよ ヤーハイ 踊り子が揃た

秋の出穂より 尚そろた サーンサヨ

踊りおどる奴 ヤーハイ 馬鹿になっておどれ

着物きらしの 腹へらす サーンサヨ

さんさ踊りたし ヤーハイ この子がじゃまだ

この子だますよな もりほしい サーンサヨ